

○広島国際大学学則

1998年1月27日

学園1102

改正 2012年3月26日

第1章 総則

(目的)

第1条 広島国際大学(以下「本大学」という)は、時代の要請に基づき、深く専門の学術とその応用を教育研究し、深い教養と豊かな人間性を備えた健全な有為の人材を育成し、もって国際社会の発展と学術・文化の向上に貢献することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本大学は、前条に規定する目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行う。

2 前項の点検および評価に関することは、広島国際大学自己評価委員会規定等に定める。

第2章 組織

(学部、学科および教育研究上の目的)

第3条 本大学に、つきの学部および学科を置く。

学部	学科
保健医療学部	診療放射線学科 臨床工学科 総合リハビリテーション学科
医療福祉学部	医療福祉学科
医療経営学部	医療経営学科
心理科学部	臨床心理学科 コミュニケーション心理学科
工学部	住環境デザイン学科 情報通信学科
看護学部	看護学科
薬学部	薬学科

2 保健医療学部各学科の教育研究上の目的は、つきの各号のとおりとする。

イ 診療放射線学科は、最先端の診療放射線機器の原理を理解してそれを使いこなす技術を習得し、医療の現場で協調性をもって活躍し、高齢化社会を支える高度な診断、治療技術と豊かな人間性を持って患者に接することができる医療人の養成を目的とする。

- 臨床工学科は、医学全般にわたる基礎知識とともに、医用工学をはじめ電気・機械・材料・計測等工学分野の知識も幅広く有し、日々進歩し続ける医療機器や医療技術の変化に対応できる能力を持つ人材の養成を目的とする。
- ハ 総合リハビリテーション学科は、理学療法学および作業療法学の両側面から少子高齢化社会にも対応する多様なリハビリテーション技術を総合的に提供でき、すべての人々の健康と生活の向上を目的として予防から治療までの幅広い専門知識と技術に裏打ちされた問題解決能力および豊かな人間性を養った専門職業人(理学療法士および作業療法士)として社会に貢献できる人材の育成を目的とする。
- 3 医療福祉学部医療福祉学科は、社会福祉学を基礎として、社会福祉分野、精神保健福祉分野ならびに医療福祉分野における広い学識と実践能力を持ち、人間の価値と尊厳を守ることのできる専門職業人の養成を目的とする。
- 4 医療経営学部医療経営学科は、医療分野の経営学、経済学、法律学、情報学および医学等に関し、現場に立脚した幅広い実践的な教育および研究を行い、医療現場で即戦力となり得る専門職業人を育成することを目的とする。
- 5 心理科学部各学科の教育研究上の目的は、つきの各号のとおりとする。
- イ 臨床心理学科は、心理全般を多方面から学ぶことを通じて、人の心や行動への関心を深め、生き生きと共感し、豊かな人間関係を形成する力を醸成する。そして、その醸成させた力を固有の想像力、創造力へと飛躍させ、社会に貢献できる人材の育成を目的とする。
- ロ コミュニケーション心理学科は、英語コミュニケーション、社会コミュニケーションおよび心理学基礎分野において、理論と実践の両面の充実を図り、企画・立案場面において意志伝達能力を十分に発揮できる人材の養成を目的とする。
- 6 工学部各学科の教育研究上の目的は、つきの各号のとおりとする。
- イ 住環境デザイン学科は、専門基礎科目において、デザイン全般、インテリアおよび建築に関する基礎教育を実施した上で、インテリア・建築・プロダクト・グラフィックを中心にデザインに関する幅広い視野と豊かな創造性を身につけた即戦力となる専門職業人の育成を目的とする。
- ロ 情報通信学科は、コンピュータ技術、通信技術、マイクロエレクトロニクス技術およびソフトウェア技術ならびに機構・駆動技術、計測・センサ技術および認識・知能化技術の技術融合の観点に立脚した教育・研究を行い、ハードウェア・ソフトウェアの両面でバランスの取れた情報通信技術者および機械技術者の育成を目的とする。
- 7 看護学部看護学科は、生命の尊厳と個人の尊重を基盤とし、豊かな人間性を形成するとともに、看護の知識・技術を習得し、質の高い看護が展開できるよう、実践力・応用力・判断力を養い、広く地域社会と国際社会に貢献できる人材の育成を目的とする。
- 8 薬学部薬学科は、専門的知識および技能に優れた薬剤師の養成は当然のこととして、薬剤師である前にまず人間であるということを自覚させ、豊かな感性と心を持ち合わせた「人間味あふれる薬剤師」の養成を目的とする。
- (助産学専攻科)
- 第3条の2 本大学に、助産学専攻科を置く。**
- 2 助産学専攻科については、別に定める。
- (収容定員)
- 第4条 本大学の収容定員は、つきのとおりとする。**

学部	学科	入学定員	第3年次編入学定員	収容定員
----	----	------	-----------	------

保健医療学部	診療放射線学科	90名	—	360名
	臨床工学科	100名	—	400名
	総合リハビリテーション学科	100名	—	400名
	計	290名	—	1160名
医療福祉学部	医療福祉学科	100名	10名	420名
	計	100名	10名	420名
医療経営学部	医療経営学科	120名	—	480名
	計	120名	—	480名
心理科学部	臨床心理学科	100名	10名	420名
	コミュニケーション心理学科	60名	5名	250名
	計	160名	15名	670名
工学部	住環境デザイン学科	70名	—	280名
	情報通信学科	70名	—	280名
	計	140名	—	560名
看護学部	看護学科	120名	10名	500名
	計	120名	10名	500名
薬学部	薬学科	160名	—	960名
	計	160名	—	960名

(職員)

- 第5条** 本大学に、学長、学部長、学長室長、教授、准教授、講師、助教、助手および事務職員を置く。
- 2 本大学に、必要に応じて副学長を置くことができる。
- 3 本大学には、前2項のほか、学生支援センター長、入試センター長、図書館長、キャリアセンター長、国際交流センター長、学科長その他必要な職員を置く。

(各職員の職務)

- 第6条** 学長は、本大学の学務を統括し、所属職員を統督する。
- 2 副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての企画および各学部間の連絡調整を行うほか、学長に事故あるときまたは欠けたときは、その職務を行う。
- 3 学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部に所属する職員を指揮監督する。
- 4 学長室長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の管理運営業務の遂行にあたる。
- 5 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する

- 者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 6 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 7 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。
- 8 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。
- 9 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 10 事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。
- 11 その他職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(学部長会議)

第7条 本大学に、学部長会議を置く。

- 2 学部長会議は、学長、副学長、学部長、学生支援センター長、学長室長、入試センター長、図書館長、キャリアセンター長、国際交流センター長および専攻科長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。
- 3 その他学部長会議について必要な事項は、学部長会議規定に定める。

(教授会)

第8条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長および当該学部の教授をもって組織し、当該学部のつぎの事項について審議する。
- イ 学生の入学および卒業に関すること
ロ 単位の認定および学業評価に関すること
ハ 学部内の教育・研究に関すること
二 年間行事予定および授業時間割の編成に関すること
ホ 学長または学部長が諮問した事項に関すること
ヘ その他学部の重要な事項に関すること
- 3 その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。

(委員会)

第9条 本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

- イ 自己評価委員会
ロ 教員選考委員会
ハ 入試委員会
二 教務委員会
ホ 学生委員会
ヘ キャリア支援委員会
ト 図書館運営委員会
チ 人権侵害防止委員会
リ 個人情報保護委員会
ヌ 國際交流委員会
- 2 自己評価委員会は、自己点検・評価に必要な教育研究目標の設定、教育研究活動の改善、将来計画の策定その他重要な事項を審議する。

- 3 教員選考委員会は、教員の採用および昇任の資格審査ならびに解雇および研修に関する事項を審議する。
- 4 入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整その他重要な事項を審議する。
- 5 教務委員会は、学長の諮問に応じて教務に関する重要な事項の審議および教務に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 6 学生委員会は、学長の諮問に応じて学生の厚生補導、表彰、懲戒その他重要な事項の審議およびそれらに関する各学部間の連絡調整を行う。
- 7 キャリア支援委員会は、学長の諮問に応じて就職に関する重要な事項の審議および就職に関する各学部間の連絡調整を行う。
- 8 図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。
- 9 人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
- 10 個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。
- 11 國際交流委員会は、学長の諮問に応じて國際交流に関する重要な事項を審議するとともに各学部および学生支援センターとの連絡調整を行う。
- 12 その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第9条の2 本大学は、授業の内容および方法の改善を図るための組織的な研修および研究を行う。

第3章 学年、学期および休業日

(学年)

第10条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第11条 学年は、つきの2学期に区分し、前期は4月1日から9月30日まで、後期は10月1日から翌年3月31日までとする。

2 必要がある場合、学長は、前項に定める前期の終期および後期の始期を変更することができる。

(休業日)

第12条 授業を行わない日(以下「休業日」という)は、つきのとおりとする。

- イ 日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日
 - 本学園創立記念日(10月30日)
 - ハ 春期休業日 3月21日から3月31日まで
 - ニ 夏期休業日 8月1日から9月14日まで
 - ホ 冬期休業日 12月25日から翌年1月7日まで
- 2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。
- 3 第1項に定めるものほか、学長は臨時の休業日を定め、または休業日に授業を行うことができる。

第4章 修業年限および在学年限

(修業年限)

第13条 本大学の修業年限は、つきのとおりとする。

保健医療学部 4年

医療福祉学部 4年

医療経営学部 4年

心理科学部 4年

工学部 4年

看護学部 4年

薬学部 6年

(在学年限)

第14条 学生は、つきの年数を超えて在学することができない。

保健医療学部 8年

医療福祉学部 8年

医療経営学部 8年

心理科学部 8年

工学部 8年

看護学部 8年

薬学部 12年

2 前項にかかわらず、第20条から第22条の規定により入学、転学部または転学科を許可された者の在学年限については、教授会の議を経て、相当な年限を学部長が定める。

第5章 入学

(入学の時期)

第15条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、第20条および第21条第1項に定める者については、後期の始めとすることができます。

(入学資格)

第16条 本大学に入学することのできる者は、つきの各号のいずれかに該当するものとする。

イ 高等学校または中等教育学校を卒業した者

ロ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)

ハ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準じる者で文部科学大臣の指定したもの

ニ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ホ 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ヘ 文部科学大臣の指定した者

ト 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)

チ その他本大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学の出願)

第17条 本大学への入学を志願する者は、所定の入学願書および入学検定料に別に定める書類を添えて願い出なければならない。

(入学者の選考)

第18条 入学志願者の選考は、教授会の審議を経て、学長が行う。

(入学手続および入学許可)

第19条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、所定の書類を提出し、所定の学費を納入しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。
- 3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ入学の宣誓をするものとする。
(編入学)

第20条 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学医療福祉学部医療福祉学科または心理科学部の各学科への編入学を志願するものがあるときは、選考のうえ第3年次に編入学を許可する。

- イ 大学を卒業した者
 大学における2年以上の課程を履修し、62単位以上を取得して退学した者
 - ハ 短期大学または高等専門学校を卒業した者
 - 二 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)のうち志願する学科に関する課程を修了した者
 - ホ その他本大学において各号に定める者と同等以上の学力があると認めた者
- 2 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学看護学部看護学科への編入学を志願するものがあるときは、選考のうえ第3年次に編入学を許可する。
- イ 大学または短期大学の看護系学科を卒業した者
 専修学校の専門課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)のうち看護系課程を修了した者
 - ハ その他本大学において各号に定める者と同等以上の学力があると認めた者
- 3 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学医療経営学部医療経営学科および工学部の各学科の第3年次ならびに医療福祉学部、心理科学部、工学部の各学科の第2年次に編入学を志願するものがある場合は、志望する学部学科に欠員があるときに限り、選考のうえ編入学を許可することがある。
- イ 大学を卒業した者
 大学における2年以上の課程を履修して退学した者
 - ハ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
 - 二 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
 - ホ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)付則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了または卒業した者
ヘ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者
 - ト その他本大学において各号に定める者と同等以上の学力があると認めた者
- 4 その他編入学について必要な事項は、編入学規定に定める。

(転入学および再入学)

第21条 つぎの各号のいずれかに該当する者で、当該大学を退学後引き続き本大学へ入学することを志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に転入学を許可することがある。

- イ 本大学以外の大学に入学し、履修歴のある者
 前号と同等以上の学力があると本大学が認める者
- 2 つぎの各号のいずれかに該当する者で、本大学へ入学することを志願するものがあるときは、選考のうえ相当年次に再入学を許可することがある。
イ 本大学を卒業した者

- 本大学を退学した者
 - ハ 第37条イ号、ロ号またはホ号により除籍になった者
- 3 その他転入学および再入学について必要な事項は、転入学規定または再入学規定にそれぞれ定める。

(転学部および転学科)

第22条 本大学の学生で、他の学部または同一学部の他の学科に転学部もしくは転学科を希望する者がある場合は、志願先に欠員のあるときに限り、志願先の教授会の議を経て学部長が選考し、学長が相当年次に転学部または転学科を許可することができる。

- 2 その他転学部および転学科について必要な事項は、転学部・転学科規定に定める。

(入学者の既修得単位等の取扱い)

第23条 第19条の規定により、入学を許可された者が入学以前に他の大学または短期大学等において修得した単位のうち30単位を限度として、学部長は教授会の議を経て、卒業の要件となる単位として認めることができる。ただし、工学部住環境デザイン学科の専門教育科目の認定については、15単位を上限とする。

- 2 第20条から前条の規定により、入学、転学部または転学科を許可された者の、本大学もしくは他の大学においてすでに履修した授業科目および修得した単位数の取扱いならびに在学すべき年数については、教授会の議を経て、学部長が定める。

第6章 教育課程、教職課程および履修方法等

(授業科目)

第24条 授業科目は、共通教育科目および専門教育科目とし、これを必修科目、選択必修科目および選択科目に分け、各年次に配当する。

- 2 前項の区分により、開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。

(単位の計算方法)

第25条 授業科目の単位の計算基準は、つぎのとおりとする。

- イ 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - ロ 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で、本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - ハ 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習または実技のうち、二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項にかかわらず、「卒業研究」については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合、これに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

(成績の評価)

第26条 成績の評価は、試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

- 2 成績は、1・2・3・4・5の5種の評語をもって表し、3・4・5を合格とする。

(単位の授与)

第27条 授業科目を履修し、前条により合格した者には、所定の単位を与える。

(他大学等における授業科目の履修等)

第28条 教育上有益と認めるときは、本大学の同一学部の他の学科、他の学部または他の大学との協議に基づき、学長(他の学科については学部長)は、当該他学科、他学部または他大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。
- 3 前2項の規定により修得した単位については、教授会の議に基づき、学部長は30単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。ただし、工学部住環境デザイン学科の専門教育科目の認定については、15単位を上限とする。

(授業および履修の方法)

第29条 授業の方法および内容ならびに年間の授業の計画、成績評価の基準は、あらかじめ学生に明示するものとする。

- 2 履修の方法、要件等について必要な事項は、各学部の履修規定に定める。

(教職課程)

第29条の2 教育職員免許状の取得を希望する者のために、教育職員免許法および同法施行規則に基づく教職課程を置く。

- 2 前項により開設する授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。
- 3 本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第8のとおりとする。
- 4 前項の免許状を取得するための授業科目の履修方法および修得すべき単位等必要な事項は、履修規定に定める。

第7章 卒業および学位

(卒業)

第30条 本大学に第13条に定める修業年限以上在学して、所定の授業科目を履修し、かつ、つぎに定める単位数を修得した者には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

保健医療学部

診療放射線学科 130単位以上
臨床工学科 134単位以上
総合リハビリテーション学科
理学療法学専攻 130単位以上
作業療法学専攻 134単位以上

医療福祉学部

医療福祉学科
医療福祉コース 124単位以上
介護福祉コース 129単位以上

医療経営学部

医療経営学科 124単位以上

心理科学部

臨床心理学科 124単位以上
コミュニケーション心理学科 124単位以上

工学部

住環境デザイン学科 124単位以上
情報通信学科 124単位以上

看護学部

看護学科 124単位以上

薬学部

薬学科 191単位以上

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書・学位記を授与する。

(学位の授与)

第31条 本大学を卒業した者には、つきの区分に従って学士の学位を授与する。

保健医療学部

診療放射線学科 学士(診療放射線学)

臨床工学科 学士(臨床工学)

総合リハビリテーション学科 学士(理学療法学)、学士(作業療法学)

医療福祉学部

医療福祉学科 学士(医療福祉学)

医療経営学部

医療経営学科 学士(医療経営学)

心理科学部

臨床心理学科 学士(臨床心理学)

コミュニケーション心理学科 学士(コミュニケーション心理学)

工学部

住環境デザイン学科 学士(工学)

情報通信学科 学士(工学)

看護学部

看護学科 学士(看護学)

薬学部

薬学科 学士(薬学)

2 前項のほか、学位について必要な事項は、学位規定に定める。

第8章 休学、留学、退学および除籍

(休学)

第32条 病気その他やむを得ない理由により、引き続き2カ月以上修学することができない者は、休学することができる。

2 休学は、所属学部長が許可する。

3 病気その他修学することが適当でないと認められる者については、所属学部長は休学を命じることができる。

(休学期間)

第33条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第14条に定める在学期間に算入しない。

(復学)

第34条 休学期間が満了し、または休学の理由が消滅したときは、復学することができる。

- 2 復学は、所属学部長が許可する。
- 3 その他復学について必要な事項は、復学規定に定める。

(留学)

第35条 外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 学長は、教育上有益と認められる場合に限り、教授会の議を経て留学を許可する。
- 3 前項の許可を得て留学した期間は、第14条に定める在学期間に含めることができる。
- 4 第28条第2項の規定は、外国の大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

第36条 退学しようとする者は、所属学部長に保証人連署の退学願と学生証を提出し、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第37条 つきの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

- イ 学費を所定の期日までに納入しない者
 - ロ 休学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者
 - ハ 第14条に定める在学年限を超えた者
- ニ 成業の見込みがないと認められる者
 - ホ 休学者で休学期間満了前までに、所属学部長に復学を願い出ない者
 - ヘ 他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者
 - ト 死亡が確認された者

第9章 賞罰

(表彰)

第38条 成績の特に優秀な学生または表彰に値する行為があった学生は、学生委員会の議を経て、学長が表彰する。

- 2 その他表彰について必要な事項は、賞罰規定に定める。

(懲戒)

第39条 本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生としての本分に反する行為をした者は、学生委員会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、放學、停学、けん責および訓告とする。
- 3 前項の放學は、つきの各号のいずれかに該当する者に対して行い、再入学は許可しない。
 - イ 性行不良で改善の見込みがない者
 - ロ 正当な理由がなくて出席常でない者
 - ハ 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
- 4 停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限に算入しない。
- 5 その他懲戒について必要な事項は、賞罰規定に定める。

第10章 入学検定料および学費等

(入学検定料)

第40条 入学検定料の額は、別表第2のとおりとする。

(学費等)

第41条 学費は、入学金および授業料とし、その額は、別表第3のとおり定める。

- 2 学費は、所定の期日までに納入しなければならない。

- 3 休学中の学費は、休学を許可された期の翌期から免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を納入しなければならない。
- 4 広島国際大学学生海外留学規定に定める留学を許可された場合の学費は、学費納入規定の定めるところにより免除する。ただし、別表第6に定める在籍料を学費免除の当該期から納入しなければならない。
- 5 その他休学中の学費等の取扱いについては、学費納入規定に定める。

(既納の入学検定料、学費等)

第42条 既に納入された入学検定料、学費および在籍料は、返戻しない。ただし、学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(納期、納入方法等)

第43条 学費および在籍料の納期、納入方法等について必要な事項は、学費納入規定に定める。

第11章 研究生、研修生、科目等履修生、特別履修生、外国人留学生および帰国学生

(研究生)

第44条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、選考のうえ研究生として入学を許可することがある。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。
- 4 研究料の額は、別表第4のとおり定める。
- 5 その他研究生について必要な事項は、研究生規定に定める。

(研修生)

第44条の2 本大学において、特定の専門事項について研修することを志願する者があるときは、選考のうえ研修生として入学を許可することがある。

- 2 研修生を志願することのできる者は、高等学校を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研修生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、在学期間の延長を認めることがある。
- 4 研修料の額は、別表第7のとおり定める。
- 5 その他研修生について必要な事項は、研修生規定に定める。

(科目等履修生)

第45条 本大学において、特定の授業科目を履修することを志願する者がある場合は、本大学の教育に支障のないときに限り、選考のうえ科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 科目等履修生を志願できる者は、高等学校を卒業した者またはそれと同等以上の学歴を有する者とする。
- 3 授業科目を履修し合格の評価を受けた者には、所定の単位を与える。
- 4 履修料の額は、別表第5のとおり定める。
- 5 その他科目等履修生について必要な事項は、科目等履修生規定に定める。

(特別履修生)

第46条 他の大学(外国の大学を含む)の学生で、本大学において授業科目を履修することを志願する者がある場合は、本大学の教育に支障のないときに限り、当該大学との協議に基づき、特別履修生として入学

を許可することがある。

(外国人留学生)

第47条 外国人で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生の出願資格は、外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3 本条の規定は、外国人が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

(帰国学生)

第48条 帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ帰国学生として入学を許可することがある。

2 帰国生徒の出願資格は、日本国籍を有し、外国における高等学校に原則として2年以上継続して在学し、学校教育における12年以上の課程を修了した者とする。

3 本条の規定は、帰国生徒が一般の入学生として入学することを妨げるものではない。

第12章 公開講座

(公開講座)

第49条 社会人の教養・知識を高め、文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設する。

2 公開講座に関し必要な事項については、別に定める。

第13章 付属施設

(図書館)

第50条 本大学に、図書館を設け、本大学の職員および学生の研究・教育に資する。

(情報センター)

第51条 本大学に、情報センターを設け、本大学の職員および学生の研究・教育に資する。

(保健室)

第52条 本大学に、保健室を設け、本大学の職員および学生の保健衛生に資する。

(心理臨床センター)

第52条の2 本大学に、心理臨床センターを設け、本大学の職員および学生の研究・教育に資するとともに、地域住民を対象とした心理臨床相談等を行う。

(福利厚生施設)

第53条 本大学に、福利厚生施設を設け、本大学の職員および学生の福利厚生に資する。

第14章 雜則

(細則)

第54条 この学則の施行に必要な細則は、別に定める。

(学則の改廃)

第55条 この学則の改廃は、学部長会議および教授会ならびに学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長が行う。

付 則

1 この学則は、1998年4月1日から施行する。ただし、第40条の別表第2は1998年度入学志願者の出願時から、第41条第1項の別表第3は1998年度入学者の入学手続時から、それぞれ適用する。

2

イ この改正学則は、2012年4月1日から施行する。

ロ 第3条にかかわらず、人間環境学部臨床心理学科、言語・コミュニケーション学科、感性情報学科

は、2006年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

ハ 第3条にかかわらず、社会環境科学部建築創造学科、住環境デザイン学科、情報通信学科は、2007年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

ニ 薬学部の2008年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

ホ 工学部各学科の2009年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

ヘ 第3条にかかわらず、保健医療学部理学療法学科、医療福祉学部医療経営学科、心理科学部コミュニケーション学科および感性デザイン学科、工学部建築学科および機械ロボティクス学科は、2011年3月31日に当該学部学科に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

ト 保健医療学部および心理科学部各学科の2010年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

チ 第31条にかかわらず、保健医療学部、医療福祉学部、心理科学部および工学部各学科の2010年度以前の入学者に授与する学位については、なお従前の例による。

リ 心理科学部および工学部の2010年度以前の入学者の教職課程および教育職員免許状については、なお従前の例による。

ヌ 看護学部の2011年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

ル 医療福祉学部の2011年度以前の入学者の修得すべき授業科目および単位数については、なお従前の例による。

別表第1 教育課程表

別表第2 入学検定料

(単位：円)

種別	金額
入学検定料	35,000

別表第3 学費

各学部の学費の金額は、つぎのとおりとする。

(単位：円)

学部 科目	保健医療 学部	医療福祉学 部	医療経営学 部	心理科学部	工学部	看護学部	薬学部	備考
入学金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	450,000	入学時の

								み
授業料	1,500,00 0	1,130,00 0	1,130,00 0	1,130,00 0	1,280,00 0	1,500,00 0	1,900,00 0	年額

〔注〕 学費の金額は、経済情勢の変動によっては改定することがある。

別表第4 研究料

(単位：円)

学部	期間	6ヶ月	1年
保健医療学部		205,000	410,000
医療福祉学部		155,000	310,000
医療経営学部		155,000	310,000
心理科学部		155,000	310,000
工学部		180,000	360,000
看護学部		205,000	410,000
薬学部		285,000	570,000

別表第5 履修料

(単位：円)

学部	金額	備考
保健医療学部	20,000	1単位当たり
医療福祉学部	15,000	
医療経営学部	15,000	
心理科学部	15,000	
工学部	17,000	
看護学部	20,000	
薬学部	25,000	

別表第6 在籍料

(単位：円)

区分	金額
前期	60,000
後期	60,000

別表第7 研修料

(単位：円)

学部	金額	備考
保健医療学部	20,000	月額
医療福祉学部	15,000	
医療経営学部	15,000	
心理科学部	15,000	
工学部	17,000	
看護学部	20,000	
薬学部	25,000	

別表第8 教育職員免許状の種類および免許教科

教職課程を置く学部・学科		免許状の種類	免許教科
心理科学部	臨床心理学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民
	コミュニケーション心理学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語
工学部	住環境デザイン学科	高等学校教諭一種免許状	工業
	情報通信学科		

別表第1 教育課程表

I 共通教育科目

1 保健医療学部(各学科共通)

授業科目			単位数
国際教養科目	国際社会の理解	国際社会の理解 I	2
		国際社会の理解 II	2
		国際社会の理解 III	2
	人間・思想	人間と思想・文化 I	2
		人間と思想・文化 II	2
		人間と思想・文化 III	2
	人間・代社会	人間と現代社会 I	2
		人間と現代社会 II	2
		人間と現代社会 III	2
	人間・技術	人間と科学・技術 I	2
		人間と科学・技術 II	2
		人間と科学・技術 III	2
基礎教科目	人文科学	哲 学	2
		文 学	2
		倫 理 学	2
		心 理 学	2
		日本語表現法	2
		芸 術 学	2
		文化人類学	2
	社会科学	コミュニケーション論	2
		法 学	2
		経 済 学	2
	自然科学	社 会 学	2
		歴 史 学	2
		政 治 学	2
		教 育 学	2
		統 計 学	2
		数 学	2
		物 理 学	2
		物理実験	1
情報処理	情報処理	化 学	2
		化 学 実 験	1
		生 物 学	2
		生物実験	1
		情報処理 I a	①
		情報処理 I b	①
		情報処理 II	1
		情報処理 III	1
	情報処理	情報処理 IV	1
		情報処理 V	1
	情報処理	情報処理 VI	1
		情報倫理	1

授業科目			単位数
基礎教育科目	外国語	英 語 I a	①
		英 語 I b	①
		英 語 II a	①
		英 語 II b	①
		英 語 III a	1
		英 語 III b	1
		英 語 IV a	1
		英 語 IV b	1
		ドイツ語 a	1
		ドイツ語 b	1
保健体育	中國語 a	1	
	中國語 b	1	
	韓國語 a	1	
	韓國語 b	1	
特講	ス ポ ー ツ I	①	
	ス ポ ー ツ II	1	
基礎ゼミナル	ス ポ ー ツ III	1	
	Global Communication	2	

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【留学生特例科目】

基礎教育科目	共 基 础	社会科	日 本 事 情 I	2
			日 本 事 情 II	2
外 国 語	外 国 語	日 本 語 I a	2	
		日 本 語 I b	2	
		日 本 語 II	2	

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、つぎのとおり卒業に必要な単位数に含める。

1 「日本事情 I」の単位を基礎教育科目社会科学科の単位数に含める。

2 「日本語 I a」、「日本語 I b」および「日本語 II」の単位を基礎教育科目外国語科目的単位数に含める。

【卒業に必要な単位数】

区分	学部 学科	保健医療学部						
		診療放射線学科		臨床工学科		総合リハビリテーション学科		
		必修	選択	必修	選択	必修	選択	
教養科目	国際	国際社会の理解	—	2	2* ¹	—	2	
	学際	人間と思想・文化	—	4		—	4	
		人間と現代社会	—			—		
		人間と科学・技術	—			—		
共通教育科目	共通基礎	人文化学	—	2		—	2	
		社会科学	—			—		
		自然科学	—	3* ²		—		
	基礎教育科目	情報処理	2	2	1* ¹	2	2	
		外国語	4			4		
		保健体育	1	1	1* ³	1	1	
		特講	1	1		1	1	
		計	8	14		8	14	
		22単位以上		22単位以上		22単位以上		

(診療放射線学科)

〔注〕 *1：各区分の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を取得すること。

*2：「物理学(2単位)」および「物理学実験(1単位)」の計3単位を取得すること。

(臨床工学科)

〔注〕 *1：各区分の卒業要件のほか、選択科目から1単位以上を取得すること。

*2：「生物学(2単位)」および「化学(2単位)」の計4単位を取得すること。

*3：「スポーツII」または「スポーツIII」を取得すること。

(総合リハビリテーション学科)

〔注〕 *1：各区分の卒業要件のほか、選択科目から3単位以上を取得すること。

2 医療福祉学部

授業科目	単位数	履修区分	
		医療福祉学科	
		医療福祉 コース	介護福祉 コース
人間と思想・文化	人間とは何か	2	
	善く生きるために	2	
	日本語表現法	2	
	文学に見る人間像	2	
	美術、音楽、建築20世紀と創造性	2	
	子どもと悪	2	
	現代社会とメディア	2	
	現代社会と労働	2	
	政治学の古典から現代を読む	2	
	日本の産業と経済	2	
人間と現代社会	戦争・病気・貧困から人類史を探る	2	
	音楽の作用と活用法	2	
	ヒトと生物と地球環境問題	2	
	ヒトの誕生そして死	2	
	意思決定とアルゴリズム	2	
国際社会の理解	文化摩擦の視点からの国際紛争	2	
	グローバル化時代の文化人類学	2	
	地域研究A(ヨーロッパ)	2	
	地域研究B(アジア:中国と周辺世界)	2	
	地域研究C(中近東)	2	
共通基礎	地域研究D(グローバル化の中の日本文化)	2	
	数学	2	
	統計学	2	
	心理学	2	□
	法学	2	○
	社会学	2	□
	経済学	2	
	文書表現	2	
	国際福祉論	2	
	医療・福祉情報学	2	○
情報処理I	I a	1	○
	I b	1	○

授業科目	単位数	履修区分	
		医療福祉学科	
		医療福祉 コース	介護福祉 コース
英語 I a	1	○	○
英語 I b	1	○	○
英語 II a	1	○	○
英語 II b	1	○	○
英語 III a	1	□	
英語 III b	1	□	
英語 IV a	1		
英語 IV b	1		
英語 V a	1		
英語 V b	1		
メディカル・イングリッシュa	1		
メディカル・イングリッシュb	1		
フランス語 I a	1		
フランス語 I b	1		
ドイツ語 I a	1		
ドイツ語 I b	1		
中国語 I a	1		
中国語 I b	1		
韓国語 I a	1		
韓国語 I b	1		
スポーツ I (理論)	1		
スポーツ II (実技)	1	□	□
基礎ゼミナー	1	○	○
キャリア開発 I	2		
キャリア開発 II	2		
キャリア開発 III	2		
プレゼンテーション	2		

〔注〕履修区分の表示において、○印は必修科目、□印は選択必修科目を示す。

【留学生特例科目】

系列分野	授業科目	単位数	履修区分	
			医療福祉学科	介護福祉 コース
人間と社会	日本事情 I	2		
	日本事情 II	2		
外国語	日本語 I a	2		
	日本語 I b	2		
	日本語 II	2		

〔注〕留学生特例科目は、外国人留学生を対象とし、人間と現代社会科目・外国語科目として計算する。修得した科目の単位は、卒業に必要な単位数に含める。

【卒業に必要な単位数】

区分		学部	医療福祉学部	
		学科	医療福祉学科	
教養科目 共通教育科目	人間と思想・文化	必修	選択	
		—	2* ¹	
		—	2* ²	
		—	2	
	国際社会の理解	—	4* ³	
	共通基礎	6	4* ⁴	
	外国語	4	2* ⁵	
	スポーツ	—	1* ⁶	
	特講	1		
計		11	19	
30単位以上				

〔注〕

医療福祉学科

- *1：介護福祉コースの履修者は「人間とは何か(2単位)」を取得すること。
- *2：介護福祉コースの履修者は「音楽の作用と活用法(2単位)」を取得すること。
- *3：介護福祉コースの履修者は「グローバル化時代の文化人類学(2単位)」を含め、計4単位を取得すること。
- *4：「心理学(2単位)」および「社会学(2単位)」の計4単位を取得すること。
- *5：「英語IIIa(1単位)」および「英語IIIb(1単位)」の計2単位を取得すること。
- *6：「スポーツII(1単位)」を取得すること。
- *7：各区分の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上を取得すること。

3 医療経営学部

授業科目			単位数
教養科目	国際社会の理解	国際社会の理解 I	2
		国際社会の理解 II	2
		国際社会の理解 III	2
	人間・文化	人間と思想・文化 I	2
		人間と思想・文化 II	2
		人間と思想・文化 III	2
	人間と現代社会	人間と現代社会 I	2
		人間と現代社会 II	2
		人間と現代社会 III	2
	人間・技術	人間と科学・技術 I	2
		人間と科学・技術 II	2
		人間と科学・技術 III	2
基礎教育科目	人文科学	哲 学	2
		文 学	2
		倫 理 学	2
		心 理 学	2
		日本語表現法	②
		芸 術 学	2
		文化人類学	2
	社会科学	コミュニケーション論	2
		法 学	②
		経 済 学	②
		社 会 学	2
		歴 史 学	2
	自然科学	政 治 学	2
		教 育 学	2
		数 学	2
		統 計 学	②
		物 理 学	2
	情報処理	化 学	2
		生 物 学	2
		情 報 处 理 I a	①
		情 報 处 理 I b	①
		情 報 处 理 II	①
		情 報 处 理 III	①
		情 報 处 理 IV	1
		情 報 处 理 V	1
	外国語	情 報 处 理 VI	1
		情 報 倫 理	1
		英 語 I a	①
		英 語 I b	①
		英 語 II a	①
		英 語 II b	①
		英 語 III a	1
		英 語 III b	1
		英 語 IV a	1
		英 語 IV b	1
		英 語 V a	1
		英 語 V b	1
		検定英語レベル I a	1
		検定英語レベル I b	1
		検定英語レベル II a	1
		検定英語レベル II b	1
		ド イ ツ 語 a	1

授業科目			単位数
基礎教育科目	外 国 語	ド イ ツ 語 b	1
		中 国 語 a	1
		中 国 語 b	1
		韓 国 語 a	1
		韓 国 語 b	1
基礎教育科目	保 健 体 育	ス ポ ー ツ I	①
		ス ポ ー ツ II	1
		ス ポ ー ツ III	1
特講	基礎ゼミナー		①
	キャリア開発演習 I		①
	キャリア開発演習 II		1
	キャリア開発演習 III		1
	Global Communication		2

〔注〕1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【留学生特例科目】

基礎教育科目	共 基 社 科	日 本 事 情 I	2
		日 本 事 情 II	2
	外 国 語	日 本 語 I a	2
		日 本 語 I b	2
		日 本 語 II	2

〔注〕留学生特例科目において修得した単位は、つぎのとおり卒業に必要な単位数に含める。

1 「日本事情 I」の単位を基礎教育科目社会科科目の単位数に含める。

2 「日本語 I a」、「日本語 I b」および「日本語 II」の単位を基礎教育科目外国語科目的単位数に含める。

【卒業に必要な単位数】

区 分			学部	医療経営学部		
			学科	医療経営学科		
				必 修	選 択	
共通教育科目	教養科目	国際	国際社会の理解	—	2	
				—		
	学際	人間と思想・文化		—	4	
		人間と現代社会		—		
		人間と科学・技術		—		
	共通基礎	人文科学	2	—	4*1	
		社会科学	4	—		
		自然科学	2	—		
	基礎教育科目	情報処理	4	—		
		外国语	4	—		
		保健体育	1	1		
		特講	2	—		
計			19	11		
			30単位以上			

(医療経営学科)

〔注〕*1：各区分の卒業要件のほか、選択科目から4単位以上を取得すること。

4 心理科学部(各学科共通)

授業科目			単位数
教養科目	国際社会の理解	国際社会の理解 I	2
		国際社会の理解 II	2
		国際社会の理解 III	2
	人間・文化思想	人間と思想・文化 I	2
		人間と思想・文化 II	2
		人間と思想・文化 III	2
	人間と現代社会	人間と現代社会 I	2
		人間と現代社会 II	2
		人間と現代社会 III	2
	人間と技術	人間と科学・技術 I	2
		人間と科学・技術 II	2
		人間と科学・技術 III	2
基礎科目	人文科学	哲 学	2
		文 学	2
		倫 理 学	2
		心 理 学	②
		日本語表現法	2
		芸 術 学	2
		文 化 人 類 学	2
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2
	社会科学	法 学	2
		経 済 学	2
		社 会 学	2
		歴 史 学	2
		政 治 学	2
		教 育 学	2
	自然科学	統 計 学	②
		数 学	2
		物 理 学	2
		物 理 学 実 験	1
		化 学 学	2
		化 学 実 験	1
		生 物 学	2
		生 物 学 実 験	1
情報処理	情 報 処 理 I a	①	
	情 報 処 理 I b	①	
	情 報 処 理 III	1	
	情 報 処 理 IV	1	
	情 報 処 理 V	1	
	情 報 処 理 VI	1	
	情 報 倫 理	1	

授業科目			単位数
基礎教育科目	外 国 語	英 語 I a	①
		英 語 I b	①
		英 語 II a	①
		英 語 II b	①
		英 語 III a	①
		英 語 III b	①
	ド イ ツ 語	a	1
		b	1
		a	1
		b	1
		a	1
保健体育	ス ポ ー ツ I	①	
	ス ポ ー ツ II	1	
	ス ポ ー ツ III	1	
	基 础 ゼ ミ ナ ー ル	①	
	キ ャ リ ア 開 発 演 習 I	①	
特 講	キ ャ リ ア 開 発 演 習 II	1	
	キ ャ リ ア 開 発 演 習 III	1	
	Global Communication	2	

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【留学生特例科目】

基礎教育科目	共 通 基 社	日 本 事 情 I	2
		日 本 事 情 II	2
	外 国 語	日 本 語 I a	2
		日 本 語 I b	2
	日 本 語 II	2	

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、つぎのとおり卒業に必要な単位数に含める。

- 「日本事情 I」の単位を基礎教育科目社会科学科目的単位数に含める。
- 「日本語 I a」、「日本語 I b」および「日本語 II」の単位を基礎教育科目外国語科目的単位数に含める。

【卒業に必要な単位数】

区分	学科	学部								
		心理学部			心理学部					
		臨床心理学科		コミュニケーション心理学科						
必修	選択	必修	選択							
教養科目	国際	国際社会の理解	一	2	6*1	一	2	8*1		
	学際	人間と思想・文化	一	4		一	4			
		人間と現代社会	一			一				
		人間と科学・技術	一			一				
	基礎教育科目	人文科学	2	2		2	2			
		社会科学	一	4		一	2			
		自然科学	2	2		2	2			
		情報処理	2	—		2	—			
		外国语	6	—		6	—			
		保健体育	1	1		1	1			
		特講	2	—		2	—			
計			15	21	15	21				
				36単位以上	36単位以上					

(臨床心理学科)

〔注〕 *1：各区分の卒業要件のほか、選択科目から6単位以上を取得すること。

(コミュニケーション心理学科)

〔注〕 *1：各区分の卒業要件のほか、選択科目から8単位以上を取得すること。

5 工学部(各学科共通)

授業科目			単位数
教養科目	国際社会の理解	国際社会の理解 I	2
		国際社会の理解 II	2
		国際社会の理解 III	2
	人間・文化	人間と思想・文化 I	2
		人間と思想・文化 II	2
		人間と思想・文化 III	2
	学際人間と社会	人間と現代社会 I	2
		人間と現代社会 II	2
		人間と現代社会 III	2
	人間・技術	人間と科学・技術 I	2
		人間と科学・技術 II	2
		人間と科学・技術 III	2
基礎教科	人文科学	哲 学	2
		文 学	2
		倫 理 学	2
		心 理 学	2
		日本語表現法	2
		芸 術 学	2
		文化人類学	2
	社会科学	コミュニケーション論	2
		日本国憲法の理念と社会秩序	2
		経済学	2
	自然科学	社会学	2
		歴史学	2
		政治学	2
		教育学	2
		統計学	2
情報処理	情報処理	数学 I	②
		数学 II	2
		数学 III	2
		数学 IV	2
		化学	2
		生物学	2
		物理学演習 a	1
		物理学演習 b	1
	情報処理	情報処理 I a	①
		情報処理 I b	①
		情報処理 II	1
		情報処理 III	1
		情報処理 IV	1
		情報処理 V	1

授業科目			単位数
基礎教科	外国語	英 語 I a	①
		英 語 I b	①
		英 語 II a	①
		英 語 II b	①
		英 語 III a	①
		英 語 III b	①
		英 語 IV a	1
		英 語 IV b	1
		英 語 V a	1
		英 語 V b	1
	基礎教育科目	ドイツ語 a	1
		ドイツ語 b	1
		中国語 a	1
		中国語 b	1
		韓国語 a	1
	保健体育	スポーツ I	①
		スポーツ II	1
		スポーツ III	1
	特講	基礎ゼミナル	①
		キャリア開発演習 I	①
		キャリア開発演習 II	1
		キャリア開発演習 III	1
		Global Communication	2

〔注〕 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

2 「芸術学」は、情報通信学科のみ開講する。

3 「情報処理 I a」、「情報処理 I b」、「情報処理 II」、「情報処理 III」、「情報処理 IV」、「情報処理 V」は、住環境デザイン学科のみ開講する。

【留学生特例科目】

基礎教科	共通基礎	社会科学	日本事情 I	2
			日本事情 II	2
外國語	外國語	日本語 I a	2	
		日本語 I b	2	
		日本語 II	2	

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、つぎのとおり卒業に必要な単位数に含める。

1 「日本事情 I」の単位を基礎教科科目社会科学科目的単位数に含める。

2 「日本語 I a」、「日本語 I b」および「日本語 II」の単位を基礎教科科目外國語科目的単位数に含める。

【卒業に必要な単位数】

区分	学科	工学部			
		住環境デザイン学科		情報通信学科	
		必修	選択	必修	選択
教養科目	国際	国際社会の理解	一	2	— 2
	学際	人間と思想・文化	—	4	—
		人間と現代社会	—		—
		人間と科学・技術	—		—
共通教育科目	共通基礎	人文学	—	2	— 2
	社会科学	—	2	— 2	
	自然科学	2	4	2 4	
	情報処理		2	—	—
	外国语		6	—	6 —
	保健体育		1	1	1 1
	特講		2	—	2 —
	計		13	15	11 15
			28単位以上		26単位以上

6 看護学部
看護学科

授業科目		単位数
国際 教養科目 学際 人文科学 共通基礎 基礎教育 日本 自然科学 情報処理	国際社会の理解 I	2
	国際社会の理解 II	2
	国際社会の理解 III	2
	人間と思想・文化 I	2
	人間と思想・文化 II	2
	人間と思想・文化 III	2
	人間と現代社会 I	2
	人間と現代社会 II	2
	人間と現代社会 III	2
	人間と科学・技術 I	2
	人間と科学・技術 II	2
	人間と科学・技術 III	2
	哲 学	2
	文 学	2
	倫 理 学	2
	心 理 学	2
	日本語表現法	2
	芸 術 学	2
	文 化 人 類 学	2
	コミュニケーション論	2
	日本国憲法	2
	経済学	2
	社会学	2
	歴史学	2
	政治学	2
	教育学	2
	統計学	②
	数学	2
	物理学	2
	化学生物学	2
	生物学	2
	情報処理 I a	①
	情報処理 I b	①
	情報処理 II	1
	情報処理 III	1
	情報処理 IV	1
	情報処理 V	1
	情報処理 VI	1
	情報倫理	1

授業科目		単位数
外國語 基礎教育科目 保健体育 特講	英 語 I a	①
	英 語 I b	①
	英 語 II a	①
	英 語 II b	①
	英 語 III a	①
	英 語 III b	①
	英 語 IV a	1
	英 語 IV b	1
	英 語 V a	1
	英 語 V b	1
	検定英語レベル I a	1
	検定英語レベル I b	1
	検定英語レベル II a	1
	検定英語レベル II b	1
	ドイツ語 a	1
	ドイツ語 b	1
	中国語 a	1
	中国語 b	1
	韓国語 a	1
	韓国語 b	1
	スポート I	①
	スポート II	1
	スポート III	1
	基礎ゼミナー	①
	キャリア開発演習 I	①
	Global Communication	2

〔注〕単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【留学生特例科目】

基礎教育 科目	共通基礎	日本事情 I	2
		日本事情 II	2
	外國語	日本語 I a	2
		日本語 I b	2
		日本語 II	2

〔注〕留学生特例科目において修得した単位は、つぎのとおり卒業に必要な単位数に含める。

1 「日本事情 I」の単位を基礎教育科目社会科学科目的単位数に含める。

2 「日本語 I a」、「日本語 I b」および「日本語 II」の単位を基礎教育科目外国語科目に含める。

【卒業に必要な単位数】

		学部	看護学部	
		学科	看護学科	
区分			必修	選択
教養科目	国際	国際社会の理解	—	2
	学際	人間と思想・文化	—	4
		人間と現代社会		
		人間と科学・技術		
基礎教育科目	共通基礎	人文科学	—	2
		社会科学	—	—
		自然科学	2	—
	情報処理		2	—
	外国語		6	—
	保健体育		1	1
	特講		2	—
計		13	11	
24単位以上				

* : 各区分の卒業要件のほか、選択科目から2単位以上修得すること。

7 薬学部

薬学科

授業科目			単位数
教養科目 国際系	国際社会の理解	国際社会の理解 I	2
		国際社会の理解 II	2
		国際社会の理解 III	2
学際系	人間思想文化と・	人間と思想・文化 I	2
		人間と思想・文化 II	2
	人間現代社会と	人間と現代社会 I	2
	人間と現代社会 II	2	
基礎教育科目 共通基礎	人文科学系	人間と科学・技術 I	2
		人間と科学・技術 II	2
		哲 学	2
	社会科学系	心 理 学	2
		芸 術 学	2
		法 学	2
	自然科学系	政 治 学	2
		社 会 学	2
		数 学	2
情報		数 学 演 習 I	①
		数 学 演 習 II	①
		物 理 学	2
		物 理 学 演 習 I	①
		物 球 学 演 習 II	①
		化 学	2
		化 学 演 習 I	①
		化 学 演 習 II	①
		生 物 学	2
		生 物 学 演 習 I	①
		生 物 学 演 習 II	①
		情 報 处 理 I a	①
外国語		情 報 处 理 I b	①
		英 語 I a	①
		英 語 I b	①
		英 語 II a	①
		英 語 II b	①
		英 語 III a	①
		英 語 III b	①
		英 語 IV a	1
		英 語 IV b	1
		英 語 V a	1
		英 語 V b	1
		検定英語レベル I a	1
		検定英語レベル I b	1
		検定英語レベル II a	1
		英 学 英 語	1
保健体育		ド イ ツ 語 I a	1
		ド イ ツ 語 I b	1
		韓 国 語 I a	1
		韓 国 語 I b	1
		ス ポ ーツ I (理 論)	1
		ス ポ ーツ II (実 技)	1
		ス ポ ーツ III (野外実技)	1
特 講	基 础 ゼ ミ ナ ー ル	(①)	

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【留学生特例科目】

人間と現代社会	日 本 事 情 I	2
外 国 語	日 本 語 I a	2
	日 本 語 I b	2
	日 本 語 II	2

〔注〕 留学生特例科目は、外国人留学生を対象とし、人間と現代社会科目・外国語科目として計算する。修得した科目の単位は、卒業に必要な単位数に含める。

【卒業に必要な単位数】

区分	教養科目	学部	薬学部	
		学科	薬学科	
			必修	選択
共通教育科目	国際系	国際社会の理解	—	2
		人間と思想・文化	—	2
		人間と現代社会	—	
	学際系	人間と科学・技術	—	
		人文科学系	—	2
		社会科学系	—	2
		自然科学系	8	—
	基礎教育科目	情 報	2	—
		外 国 語	6	—
		保 健 体 育	—	1*1
		特 講	1	—
		計	17	9
			26単位以上	

[注] *1:「スポーツII(1単位)」または「スポーツIII(1単位)」のうち、いずれか1科目1単位を取得すること。

II 専門教育科目

1 保健医療学部

イ 診療放射線学科

授業科目		単位数
専 門 基 礎 分 野	チユートリアル	①
	公衆衛生学	①
	医学医療総論(生命倫理を含む)	②
	臨床生化学	①
	人体構造学	①
	人体構造学演習・実習	②
	病理学	①
	人体生理機能学	①
	人体生理機能学演習・実習	②
	臨床医学総論	②
	画像解剖学	②
	放射線薬品学	1
	医療統計学	2
	基礎数学・演習	2
	基礎物理学・演習	2
	放射線物理学 I	②
	放射線物理学 II	②
	放射線物理学演習	①
	放射化学生物学	②
	放射化学生物学実験	①
	放射線生物学	②
	放射線計測学	②
	放射線計測学演習	①
	放射線計測学実験	①
専 門 分 野	電気電子工学 I	②
	電気電子工学 II	②
	電気電子工学実験	②
	X線撮影技術学 I	②
	X線撮影技術学 II	②
	断層検査技術学	②
	断層検査技術学演習	1
	医用画像学概論	2
	画像診断学	②
	放射線機器安全管理学	2
専 門 分 野	診療画像機器学 I	②
	診療画像機器学 II	②
	医用磁気共鳴学	②
	医用磁気共鳴学演習	1
	核医学技術学	②
	核医学	②
	核医学技術学演習	1
	核医学機器学	②
	核医学検査技術学	

授業科目		単位数
専 門 分 野	放射線治療技術学 I	②
	放射線治療技術学 II	②
	放射線腫瘍学	②
	放射線治療機器学	②
	放射線治療管理学	1
	医用画像工学 I	②
	医用画像工学 II	②
	医用画像工学実験・演習	②
	画像処理工学 I	2
	画像処理工学 II	2
	画像処理工学実験・演習	2
	放射線写真学	①
	放射線写真学実験	①
	医用画像情報システム論	②
	放射線管理学	②
	放射線管理学実験	①
	放射線保健管理学	②
	放射線関係法規	②
	臨床実習 I	②
	臨床実習 II	⑧
	リスクマネージメント	2
	放射線量評価演習	1
	総合放射線工学実験	②
	放射線科学演習 I	①
	放射線科学演習 II	2
	放射線科学特別講義	1
専 門 分 野	医療英語	②
	救急医療	2
	卒業研究	④

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択
専門基礎分野	36	
専門分野	64	8
計	100	8
		108単位以上

口 臨床工学科

授業科目	単位数	履修区分	
		臨床工学科	
		臨床工学専攻	臨床検査学専攻
専門基礎分野	チュートリアル	1	○ ○
	人体構造学	2	○ ○
	人体構造学実習	1	○ ○
	人体生理機能学	2	○ ○
	人体生理機能学実習	1	○ ○
	公衆衛生学演習	1	○ ○
	病理解剖学概論	1	○ ○
	臨床生理学 I	2	○ ○
	臨床薬理学	2	○ ○
	基礎数学	2	○ ○
	応用数学	2	○ ○
	基礎物理学	2	○ ○
	電気・電子工学 I	2	○ ○
	電気・電子工学実習	2	○ ○
	医用工学概論	2	○ ○
	医用工学実習	2	○ ○
	医用機械工学 I	2	○ ○
	システム工学	2	○ ○
	情報科学概論	2	○ ○
専門分野	システム工学実習	1	○ ○
	医療情報技術学	2	○ ○
	生命倫理	2	○ ○
	医療英語	2	○ ○
	臨床工学概論	1	○ ○
	物性工学	2	○ ○
	材料工学	2	○ ○
	計測工学	2	○ ○
	M E 基礎概論	2	○ ○
	生体計測装置学	2	○ ○
	医用機器学	2	○ ○
	医用機器学実習	2	○ ○
	生体機能代行技術学 I	2	○ ○
	生体機能代行技術学 II	2	○ ○
	生体機能代行技術学 III	2	○ ○
	生体機能代行技術学 IV	2	○ ○
	生体機能代行技術学実習 I	4	○ ○
	臨床病態学 I	2	○ ○
	臨床病態学 II	2	○ ○
	臨床病態学 III	2	○ ○
	関係法規	1	○ ○
	機器安全管理学	2	○ ○
	機器安全管理学実習	2	○ ○
	臨床工学実習 I	4	○ ○
	臨床化学	2	□
	臨床生化	2	□
	臨床化学実習	1	□

授業科目	単位数	履修区分	
		臨床工学科	
		臨床工学専攻	臨床検査学専攻
専門分野	放射性同位元素検査技術学演習・実習	2	□
	臨床検査総論 I	2	□
	臨床検査総論 II	2	□
	臨床検査総論実習 I	1	□
	臨床検査総論実習 II	1	□
	臨床生理学 II	2	□
	臨床生理学実習	1	□
	遺伝子検査学演習・実習	1	
	病理組織細胞学	2	
	病理組織細胞学実習	1	
	血液検査学	2	
	血液検査学実習	1	
	臨床検査学実習	2	□
	臨床微生物学 I	2	
	臨床微生物学 II	2	
	臨床微生物学実習	1	
	臨床免疫学	2	
	臨床免疫学実習	1	
	生体機能代行技術学 V	2	□
	生体機能代行技術学 VI	2	□
	生体機能代行技術学実習 II	1	□
	電気・電子工学 II	2	□
	医用機械工学 II	2	□
	医用機器管理学	2	□
	救急医療	2	□
	人工臓器工学	2	
	医療安全システム演習	1	
	医療情報システム学	2	
	バイオテクノロジー演習	1	
	医療機器メーカー実習	1	□
	臨床工学実習 II	2	
	臨床工学演習	1	○ ○
	卒業研究	4	○ ○

【注】履修区分の表示において、○印は必修科目、□印は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	臨床工学科					
	臨床工学専攻		臨床検査学専攻		必修	選択必修
	必修	選択必修	必修	選択必修		
専門基礎分野	42	—	—	42	—	—
専門分野	47	14	9*	47	18	5
計	89	14	9	89	18	5
	112単位以上			112単位以上		

* : 9単位のうち2単位は「臨床工学実習 II」または「臨床検査学実習」を取得すること。

ハ 総合リハビリテーション学科

授業科目		単位数	履修区分	
			総合リハビリテーション学科	
			理学療法学専攻	作業療法学専攻
人体の構造と機能及び心身の発達	チュートリアル	1	○	○
	解剖学 I	2	○	○
	解剖学 II	2	○	○
	解剖学実習	1	○	○
	生理学 I	2	○	○
	生理学 II	2	○	○
	生理学実習	1	○	○
	リハビリテーション運動学	2	○	○
	リハビリテーション運動学実習	1	○	○
	病理解概論	2	○	○
専門基礎分野 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	人間発達学	2	○	○
	医学概論	2	○	○
	リハビリテーション内科学 I	1	○	○
	リハビリテーション内科学 II	1	○	○
	リハビリテーション整形外科学 I	1	○	○
	リハビリテーション整形外科学 II	1	○	○
	リハビリテーション精神医学	2	○	○
	リハビリテーション脳神経学 I	1	○	○
	リハビリテーション脳神経学 II	1	○	○
	救急医学	2	○	○
保健医療福祉の理念 とりハビリテーションの理念	発達障害学	2	○	○
	リハビリテーション概論	2	○	○
	生命倫理	2		
	リハビリテーション心理学	2		
	保健医療福祉論	2		
専門分野 基礎理学	老年医学	2	○	○
	理学療法概論	2	○	
	理学療法研究法	2	○	
	理学療法管理運営学	2	○	
	作業療法概論	2		○
	作業療法研究法	2		○
	作業療法管理運営学	2		○
	運動系機能能力評価学 I	1	○	
	運動系機能能力評価学実習 I	1	○	
	運動系機能能力評価学 II	1	○	
基礎作業学	運動系機能能力評価学実習 II	1	○	
	神経系機能能力評価学	1	○	
理学療法評価学				

	小児機能能力評価学	1	○	
作業療法評価学	小児機能能力評価学	1		○
	神経系機能能力評価学	1		○
	運動系機能能力評価学	1		○
	運動系機能能力評価学実習	1		○
	精神・認知機能能力評価学	1		○
	精神・認知機能能力評価学実習	1		○
理学療法治療学	運動療法学概論	2	○	
	運動療法学演習	1	○	
	物理療法学	1	○	
	物理療法学実習	1	○	
	義肢装具学	1	○	
	義肢装具学演習	1	○	
	内部障害理学療法学	1	○	
	内部障害理学療法学実習	1	○	
	運動系機能障害理学療法学	1	○	
	運動系機能障害理学療法学実習	1	○	
	スポーツ障害理学療法学	1	○	
	スポーツ障害理学療法学演習	1	○	
	小児神経系理学療法学	1	○	
	小児神経系理学療法学実習	1	○	
	成人神経系理学療法学 I	1	○	
	成人神経系理学療法学実習 I	1	○	
	成人神経系理学療法学 II	1	○	
	成人神経系理学療法学実習 II	1	○	
作業療法治療学	生活技術学	2	○	
	生活技術学実習	1	○	
	臨床運動学	2	○	
	臨床運動学実習	1	○	
	摂食・嚥下リハビリテーション学	1	○	
	身体障害作業療法学総論	1		○
	身体障害作業療法学各論	1		○
	身体障害作業療法学演習	1		○
	老年期障害作業療法学	1		○
	老年期障害作業療法学演習	1		○

認 知 症 作 業 療 法 学	1		○
高 次 脳 機能 障 害 作 業 療 法 学	1		○
義 肢 装 具 学	1		○
義 肢 装 具 学 演 習	1		○
日 常 生 活 活 動 学	1		○
日 常 生 活 活 動 学 実 習	1		○
住 環 境 整 備 論	1		○
住 環 境 整 備 論 実 習	1		○
福 祉 機 器 適 用 論	1		○
福 祉 機 器 適 用 論 実 習	1		○
就 労 支 援 技 術 学	1		○
就 労 支 援 技 術 学 実 習	1		○
地 域 理 学 療 法 学	福 祉 機 器 適 応 論	2	
	地 域 理 学 療 法 学	1	○
	地 域 理 学 療 法 学 実 習	1	○
	ヘルスプロモーション論	2	
	公 衆 卫 生 学	1	
	心 身 障 害 児 療 育 論	1	○
地 域 作 業 療 法 学	地 域 作 業 療 法 学 総 論	1	
	地 域 作 業 療 法 学 各 論	1	
	地 域 作 業 療 法 学 演 習	1	
	心 身 障 害 児 療 育 論	1	
	公 衆 卫 生 学	1	
	ヘルスプロモーション論	2	
臨 床 実 習	臨 床 体 験 実 習	1	○
	臨 床 評 価 実 習	3	○
	総 合 臨 床 実 習	14	○
	臨 床 見 学 実 習	1	
	臨 床 体 験 実 習	2	
	臨 床 推 論 実 習	6	
	総 合 臨 床 実 習	16	
専 門 総 合 分 野	卒 業 研 究	4	○
	理 学 療 法 学 演 習	2	○
	理 学 療 法 特 別 講 義 I	1	
	理 学 療 法 特 別 講 義 II	1	
	作 業 療 法 学 演 習	2	
	作 業 療 法 特 別 講 義 I	1	
	作 業 療 法 特 別 講 義 II	1	
	医 療 英 語	2	○
			○

[注] 履修区分の表示において、○印は必修科目

【卒業に必要な単位数】

区分	理学療法学専攻		作業療法学専攻	
	必修	選択	必修	選択
専門基礎分野	36		36	
専門分野	63		67	
専門総合分野	4		4	
計	103	5	107	5
	108単位以上		112単位以上	

(総合リハビリテーション学科)

理学療法学専攻

*1 : 「専門分野」地域理学療法学のうち、「福祉機器適応論」、「ヘルスプロモーション論」、「公衆衛生学」のいずれか1科目を含む、「専門基礎分野」「専門分野」「専門総合分野」から5単位を修得すること。

作業療法学専攻

*2 : 「専門分野」地域作業療法学のうち、「心身障害児療育論」、「公衆衛生学」、「ヘルスプロモーション論」のいずれか1科目を含む、「専門基礎分野」「専門分野」「専門総合分野」から5単位を修得すること。

2 医療福祉学部

医療福祉学科

授業科目		単位数	履修区分	
			医療福祉学科	
			医療福祉	介護福祉
コース	コース			
専門基礎科目	チュートリアル	1	○	○
医学一般		2		□
病院・医療管理学概論		2		
人体の構造と機能及び疾病		2		
ヘルスプロモーション論		2		□
人権と現代福祉		2		□
社会福祉原論		4	□	
社会福祉援助技術論I		2	□	
社会福祉援助技術論II		2	□	
社会福祉援助技術論III		2	□	
社会福祉援助技術論IV		2	□	□
社会福祉援助技術論V		2	□	
社会福祉援助技術論VI		2	□	
社会保障論		4	□	
高齢者福祉論I		2	□	□
高齢者福祉論II		2	□	□
障害者福祉論I		2	□	□
障害者福祉論II		2	□	
児童福祉論I		2	□	□
児童福祉論II		2	□	□
発達と老化の理解		2		□
認知症のケア		2		□
心と体の仕組み		2		□
認知症の理解		2		□
リハビリテーション論		2		□
コミュニケーション論		2		□
公的扶助論		2		
地域福祉論I		2	□	
地域福祉論II		2	□	
社会調査法		2		
保健医療サービス		2	□	
就労支援		1	□	
権利擁護と成年後見		2	□	
更生保護		1	□	
福祉行政財政と福祉計画		2		
福祉運営管理論		2		
社会福祉援助技術演習		5	□	
社会福祉援助技術現場実習概論		2	□	
社会福祉援助技術現場実習指導I		1	□	
社会福祉援助技術現場実習指導II		1	□	
社会福祉援助技術現場実習指導III		1	□	
社会福祉援助技術現場実習		4	□	
社会福祉援助技術現場実習B		1	□	
スクールソーシャルワーク論		2		
スクールソーシャルワーク演習		1		
スクールソーシャルワーク実習指導		1		
スクールソーシャルワーク実習		2		
介護概論		2		
介護技術演習		2		

授業科目		単位数	履修区分	
			医療福祉学科	
			医療福祉	介護福祉
コース	コース			
専門科目	医療福祉論	2		
音楽療法概論		2		
医療ソーシャルワーク論		4		
医療ソーシャルワーク演習I		1		
医療ソーシャルワーク演習II		1		
医療ソーシャルワーク演習III		1		
リハビリテーション環境支援論		2		
国際医療福祉演習		1		
障害者に対する支援と障害者自立支援制度		2		
精神疾患とその治療		4		
精神保健の課題と支援		4		
精神保健福祉相談援助の基盤(専門)		2		
精神保健福祉の理論と相談援助の展開I		4		
精神保健福祉の理論と相談援助の展開II		4		
精神保健福祉に関する制度とサービス		4		
精神障害者の生活支援システム		2		
精神保健福祉援助演習I		1		
精神保健福祉援助演習II		1		
精神保健福祉援助演習III		1		
精神保健福祉援助実習指導I		1		
精神保健福祉援助実習指導II		1		
精神保健福祉援助実習指導III		1		
精神保健福祉援助実習		5		
家政学概論I		2		□
家政学概論II		2		□
家政学演習I(栄養)		2		□
家政学演習II(被服)		2		□
介護の基本I		4		□
介護の基本II		2		□
レクリエーション活動援助法		2		□
形態別コミュニケーション論(点字)		1		□
形態別コミュニケーション論(手話)		1		□
生活支援技術I		1		□
生活支援技術II		1		□
生活支援技術III		1		□
生活支援技術IV		1		□
介護過程I		2		□
介護過程II		4		□
介護過程III		4		□
介護総合演習I		1		□
介護総合演習II		1		□
介護総合演習III		1		□
介護実習I		2		□
介護実習II		4		□
介護実習III		4		□
医療的ケアI		2		□
医療的ケアII		1		□
医療的ケアIII		1		□

授業科目		単位数	履修区分	
			医療福祉学科	
			医療福祉	介護福祉
専門科目	医療福祉情報処理演習	2		
	障害者心理学	2		<input type="checkbox"/>
	カウンセリング	2		
	医学用語概論	2		
	内科学概論	2		
	生涯発達心理学	2		<input type="checkbox"/>
	国際福祉用語概論	2		
	総合福祉論	4		
	職業リハビリテーション論	2		
	専門演習IA	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	専門演習IB	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	専門演習IIA	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	専門演習IIB	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
演習	インターンシップI	1		
	インターンシップII	1		
	卒業研究I	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	卒業研究II	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

〔注〕履修区分の表示において、○印は必修科目、□印は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	医療福祉コース			介護福祉コース		
	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択
専門基礎科目	1			1	6	
専門科目	10	57	26	10	78	4
計	11	57	26	11	84	4
	94単位以上			99単位以上		

3 医療経営学部

医療経営学科

授業科目		単位数
専門基礎科目	チュートリアル	①
	医療制度論	②
	病院管理学 I	②
	医療経営概論	②
	医学・医療概論	②
	医療法・医師法	②
	医学用語概論	②
	経営学総論	②
	経営組織論	②
	会計学	②
	社会保障論	②
	メディカル・イングリッシュ I	①
	メディカル・イングリッシュ II	①
	救急処置演習	①
	人体構造機能学 I	②
	人体構造機能学 II	②
	臨床病理学概論	②
	臨床医学 I	②
専門科目	臨床医学 II	②
	臨床医学 III	②
	臨床医学 IV	②
	公衆衛生学	①
	薬学概論	②
	医学・医療史	②
	疾病分類学 I	②
	疾病分類学 II	②
	疾病分類学演習	①
	診療情報管理演習	①
	診療報酬制度論	②
	診療報酬請求演習 I	①
	診療報酬請求演習 II	①
	医療事務概論	②
	簿記論	②
	簿記演習	①
	秘書学概論	②
	秘書実務	②
医療経営・経済	医療秘書概論	②
	医療文書技術論	②
	マーケティング	②
	財務管理論	②
	経営戦略論	②
	人的資源管理論	②
	経営工学	②
	介護保険制度論	②
	医療経済学 I	②
	医療経済学 II	②
	医療経済分析論	②
	財政学	②

授業科目		単位数
医療経営・経済	医事法	②
	医療関連法規	②
	民法	②
	病院管理演習 I	①
	病院管理演習 II	①
	病院管理学 II	②
	患者・家族受療行動論	②
	病院組織論	②
	病院会計論	②
	医療倫理・医療安全論	②
	病院経営分析論	②
	医薬品・医療機器流通論	②
	医療施設建築論	②
	医療経営史	②
	医療機能評価論	②
	病院システム論	②
	地域医療システム論	②
	国際保健制度論	②
専門科目	経営基礎演習	①
	医療統計学	②
	医療統計学演習	①
	医療情報学 I	②
	医療情報学 II	②
	医療情報学 III	②
	医療情報学 IV	②
	診療情報管理論	②
	情報システム学 I	②
	情報システム学 II	②
	病院情報システム論	②
	医療経営データベース演習	①
	病院経営情報処理演習	①
	ビジネスマナー・接遇演習	①
	医療施設管理実習	②
	インターンシップ I	①
	インターンシップ II	①
演習・実習	専門基礎演習 I	①
	専門基礎演習 II	①
	専門演習 I	①
	専門演習 II	②
	卒業研究 I	②
	卒業研究 II	②

【注】履修区分の表示において、○印は必修科目、□印は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択必修	選択
専門基礎科目	24	—	13
専門科目	21	36	
計	45	36	13
94単位以上			

4 心理科学部

イ 臨床心理学科

授業科目		単位数
専門基礎科目	チュートリアル	①
	神経科学	2
	社会福祉学	2
	心理学概論 I	②
	心理学概論 II	②
心理学基礎系	學習心理学	2
	認知心理学	2
	生理心理学	2
	コミュニケーション心理学	2
	感覚知覚心理学	2
	人格心理学	2
	心理学実習 I	②
	心理学実習 II	1
	心理学研究法 I	②
	心理学研究法 II	2
	心理統計学	②
	色彩心理学	2
	感情心理学	2
	感性心理学	2
	廣告心理学	2
臨床心理学関連系	精神医学	2
	身心医学	2
	学校教育心理学	2
	発達心理学	2
	老年心理学	2
	健康心理学	2
	社会心理学	2
臨床心理学専門系	産業心理学	2
	臨床心理学	②
	心理療法治論	②
	力動的精神性療法	②
	人間学的心理療法	②
	行動療法	②
	臨床心理学と倫理	②
	心理アセスメント概説	②
	心理アセスメント実習 I	②
	心理アセスメント実習 II	1
	臨床心理学基礎実習	2

授業科目		単位数
臨床心理学専門系	教育相談	2
	学校カウンセリング	2
	障害児(者)心理学	2
	公衆衛生学	2
	臨床心理学の現場(医療・福祉)	2
	臨床心理学の現場(教育・発達)	2
	臨床心理学の現場(産業・社会)	2
	臨床心理学実習	2
	外国書講読	2
	質的データ解析法	2
	社会調査法概論 I	2
	社会調査法概論 II	2
	社会調査法実習 I	1
	社会調査法実習 II	1
	多変量解析・同演習	3
専門科目	地域支援実習	1
	情報リテラシー演習	2
	セルフ・プレゼンテーション演習 I	2
	セルフ・プレゼンテーション演習 II	2
	インターンシップ I	1
	インターンシップ II	1
	臨床心理学演習 I	②
	臨床心理学演習 II	②
	卒業研究 I	②
	卒業研究 II	②
社会科・公民科科目	日本史概論	2
	西洋史概論	2
	地理学	2
	法学概論	2
	政治学概論	2
	国際関係論	2
	哲学概論	2
	倫理学概論	2

[注] 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択
専門基礎科目	5	43*
専門科目	30	
社会科・公民科科目	—	—
小計	35	43
		78単位以上
その他(所属学部の共通教育科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目および他学部の科目、教職課程の科目「教職概論」、「教育制度論」、「平和教育」)		10
計		88単位以上

(*) * : 「臨床心理学の現場(医療・福祉)(2単位)」、「臨床心理学の現場(教育・発達)(2単位)」および「臨床心理学の現場(産業・社会)(2単位)」のうち、いずれか1科目2単位を含むこと。

□ コミュニケーション心理学科

	授業科目	単位数
専門基礎科目	チュートリアル	①
	心理学概論 I	②
	心理学概論 II	②
	言語と社会	2
	文化社会学	2
	現代文化論	2
	日本語コミュニケーション論	②
	ノンバーバル・コミュニケーション論	2
	対人コミュニケーション論	2
	マス・コミュニケーション論	2
	人間行動論	2
	情報リテラシー演習	2
	セルフ・プレゼンテーション演習 I	2
	セルフ・プレゼンテーション演習 II	2
	学習心理学	2
心理学基礎系	認知心理学	2
	感覚知覚心理学	2
	色彩心理学	2
	感情心理学	2
	生理心理学	2
	神経科学	2
	発達心理学	2
	老年心理学	2
	学校教育心理学	2
	健康心理学	2
	人格心理学	2
	障害児(者)心理学	2
	教育相談	2
	社会心理学	2
	コミュニケーション心理学	2
ビジネス・心理系	心理学実習 I	②
	心理学実習 II	1
	心理学研究法 I	2
	心理学研究法 II	2
	ビジネス・コミュニケーション演習 I	②
	ビジネス・コミュニケーション演習 II	2
	質的調査法	2
	社会調査法概論 I	②
	社会調査法概論 II	2
	地域コミュニケーション論	2
	ジャーナリズム論	2
	国際コミュニケーション論	2
	社会調査法実習 I	1
	社会調査法実習 II	1
	データ分析法	②
	心理統計学	2
	多変量解析・同演習	3
英語コミュニケーション系	異文化間コミュニケーション論	2
	イギリス文化論	2
	アメリカ文化論	2
	英語学 I	②
	英語学 II	②
	イギリス文学	2
	アメリカ文学	2
	英語科教育法 I	2
	英語科教育法 II	2
	英語科教育法 III	2
	英語科教育法 IV	2
	メディア・イングリッシュ	2
	ビジネス・イングリッシュ	2
	英語文書作成	2
	パブリック・スピーキング I	2
専門科目	パブリック・スピーキング II	2
	イギリス文学特殊講義	2
	音声学	2
	アメリカ文学特殊講義	2
	海外英語実習	2
	コミュニケーションデザイン	2
	現代デザイン論	2
	ユニバーサルデザイン	2
	広告心理学	2
	グラフィックデザイン基礎実習	1
	グラフィックデザイン応用実習	1
	WEBデザイン論・同演習	3
	創造心理開発論	2
	感性心理学	2
	感性人間工学	2
感性・デザイン心理系	ビジュアルプレゼンテーション論	2
	応用認知心理学演習	2
	メディアアート・同演習	3
	情報デザイン学演習	2
	外国書講読	2
	日本語表現特論	2
	コミュニケーション心理学演習 I	②
	コミュニケーション学心理演習 II	②
	インターンシップ I	1
	インターンシップ II	1
	卒業研究 I	②
	卒業研究 II	②
	関連科目	
	社会調査法概論 I	②
	社会調査法概論 II	2

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択
専門基礎科目	7	
専門科目	20	51
小計	27	51
	78単位以上	
その他 (所属学部の共通教育科目、 所属学科の専門教育科目、 他学科の専門教育科目および 他学部の科目)		10
合計		88単位以上

5 工学部

イ 住環境デザイン学科

授業科目		単位数
専門基礎科目	チュートリアル	①
	デザイン入門	②
	インテリアデザイン入門	②
	建築一般構造	②
	建築力学 I	②
	建築力学 II	②
	建築デザイン入門	②
	建築計画	②
	木構造	②
	居住環境概論	②
	住宅計画	②
	まちづくり基礎論	②
	技術者倫理	②
	西洋建築史	②
	景観デザイン論	②
	日本建築史	②
	構造材料実験演習	②
基幹	デザイン基礎演習	②
	設計演習	②
	住宅デザイン演習	③
	インテリアコーディネート	②
	C G / C A D 演習	②
インテリア・デザインコース	インテリアデザイン	②
	インテリア C A D / C G	1
	ヴィジュアルデザイン史	2
	ショップデザイン論	②
	リフォーム・リノベーション論	②
	色彩デザイン論	2
	家具・照明デザイン	2
	広告・グラフィックデザイン	2
	商品デザイン	2
	児童環境論	2
	園芸福祉学	2
	美学	2
建築デザインコース	人間環境心理	2
	インテリア・デザインプレゼミナル	②
	建築デザイン演習	②
	建築力学 III	②
	建築 C A D 演習	1
	居住環境学	②
	居住環境設備 I	2
	居住環境設備 II	2

授業科目		単位数
建築デザインコース	居住環境評価法および同演習	3
	居住環境計測法および同演習	3
	生活環境学	②
	鋼構造	2
	環境デザイン演習	2
	都市・地域・環境計画	2
	医療・福祉建築計画	2
	鉄筋コンクリート構造	2
	パブリックデザイン演習	2
	コミュニケーションプランニング	2
	フィールドワーク	2
	構造設計演習	1
	建築デザインプレゼミナル	②
	住宅建入門	2
	建築生産	②
	インターンシップ I	1
	インターンシップ II	1
	建築法規	②
資格・関連科目	建築積算	②
	建築行政論	1
	測量学・同実習	2
	卒業研究 I	②
	卒業研究 II	②

[注] 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択
専門基礎科目	13	58*
専門科目	15	
小計	28	58
	86単位以上	
その他 (所属学部の共通教育科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目および他学部の科目)	10	
合計	96単位以上	

[注] * : 選択必修科目22単位を含むこと。

□ 情報通信学科

授業科目		単位数
専門基礎科目	チ ュ ー ト リ ア ル	①
	工 学 基 础 I	②
	情 報 ・ 機 械 セ ミ ナ ー I	②
	情 報 ・ 機 械 セ ミ ナ ー II	②
	回 路 基 础 I	2
	回 路 基 础 II	2
	科 学 技 術 史	2
	数 値 解 析	2
	情 報 通 信 基 础 論	②
	情 報 リ テ ラ シ 一	2
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 础	②
	自 動 制 御 概 論	②
	W E B 制 作	2
	情 報 活 用	2
情報処理系	W E B デ ザ イ ン I	2
	W E B デ ザ イ ン II	2
	W E B ビ ジ ネ ス I	2
	W E B ビ ジ ネ ス II	2
	基 本 ア ル ゴ リ ズ ム	2
	基 本 情 報 处 理 I	2
	基 本 情 報 处 理 II	2
	計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ	2
	ソ フ ト ウ エ ア 工 学	2
	デ タ ベ ー ス 工 学	2
	信 号 解 析	2
	情 報 通 信 方 式	2
	ア ン テ ナ 工 学	2
	無 線 ・ 移 動 通 信	2
情報通信ネットワーク系	信 号 シ ス テ ム	2
	ネ ッ ト ワ ー キ ン グ I	2
	ネ ッ ト ワ ー キ ン グ II	2
	ネ ッ ト ワ ー キ ン グ III	2
	回 路 設 計 I	2
	回 路 設 計 II	2
	情 報 セ キ ユ リ テ ィ	2
	光 フ ア イ バ ネ ッ ト ワ ー ク	2
	機 械 運 動 学	2
	ロ ボ ッ ト 基 础 I	2
	ロ ボ ッ ト 基 础 II	2
	ロ ボ ッ ト 応 用	2
	人 工 知 能	2
	制 御 工 学	2
	生 体 工 学	2
メカトロニクス系	工 学 基 础 II	2
	材 料 力 学 I	2
	材 料 力 学 II	2
	熱 力 学	2
	流 体 力 学	2
メカトロニクス系	機 械 設 計 I	2

授業科目		単位数
メカトロニクス系	機 械 設 計 II	2
	機 械 材 料	2
	シ ス テ ム 工 学	2
	ア ク チ ュ エ 一 タ 工 学	2
	セ ン サ 工 学	2
	計 测 工 学	2
	振 動 工 学	2
	情 報 機 器	2
	デ イ ジ タ ル 信 号 处 理	2
	情 報 压 縮	2
	画 像 工 学	2
	集 積 回 路	2
	デ イ ジ タ ル 回 路	2
	企 業 情 報 シ ス テ ム	2
	ト レ ー サ ピ リ テ ィ シ ス テ ム	2
専門科目	も の づ く り 実 習	②
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 I	②
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 II	②
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 III	2
	C A D 設 計 演 習 I	2
	C A D 設 計 演 習 II	2
	工 学 基 础 実 習 I	②
	工 学 基 础 実 習 II	2
	卒 研 ゼ ミ ナ ー ル I	①
	卒 研 ゼ ミ ナ ー ル II	②
	卒 業 研 究	⑧
	実 驗 実 習	

〔注〕 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区 分	必 修	選 択
専門基礎科目	13	56*
専 門 科 目	19	
小 計	32	56
88単位以上		
その他 (所属学部の共 通教育科目、所 属学科の専門教 育科目、他学科 の専門教育科目 および他学部の 科目)		10
合 計		98単位以上

〔注〕 * : 選択必修科目12単位を含むこと。

6 看護学部

看護学科

授業科目		単位数
専門基礎科目	チュートリアル	①
	生命倫理	①
	人体の構造と生理機能 I	②
	人体の構造と生理機能 II	②
	栄養・代謝学と臨床生化学	②
	臨床薬理学	②
	微生物学	②
	臨床病態学 I	①
	臨床病態学 II	①
	臨床病態学 III	②
	臨床心理学	②
	カウンセリング理論と技法	1
	人間の発達と人間関係	2
	社会保障論	1
	看護関係法規	①
	看護情報学	1
	異文化看護コミュニケーション論	1
	疫学	②
	保健統計	②
	保健医療福祉行政論 I	②
	保健医療福祉行政論 II	1
	病院・医療管理学概論	1
	国際看護英語	2
専門科目	看護学概論 I	②
	看護学概論 II	①
	基礎看護技術演習 I	①
	基礎看護技術演習 II	②
	基礎看護技術演習 III	②
	看護診断学演習	①
	基礎看護学実習 I	①
専門科目	基礎看護学実習 II	②
	成人看護学概論	②
	成人看護学各論 I	①
	成人看護学各論 II	①
	成人看護学演習 I	①
	成人看護学演習 II	①
	成人看護学実習	⑥
老年看護学系	老年看護学概論	②
	老年看護学各論	①
	老年看護学演習	①
	老年看護学実習	④

授業科目		単位数
小児看護学系	小児看護学概論	②
	小児看護学各論	①
	小児看護学演習	①
	小児看護学実習	②
母性看護学系	母性看護学概論	②
	母性看護学各論	①
	母性看護学演習	①
	母性看護学実習	②
精神看護学系	精神看護学概論	②
	精神看護学各論	①
	精神看護学演習	①
	精神看護学実習	②
専門科目	公衆衛生看護学概論	②
	公衆衛生看護学各論 I	2
	公衆衛生看護学各論 II	2
	公衆衛生看護学各論 III	2
	学校保健	1
	産業保健	①
	公衆衛生看護学演習 I	2
	公衆衛生看護学演習 II	2
	公衆衛生看護学演習 III	1
	公衆衛生看護学演習 IV	1
	公衆衛生看護学実習 I	4
	公衆衛生看護学実習 II	1
専門科目	国際看護論	2
	ターミナルケア論	2
	災害・救急看護論	2
	統合看護学実習	②
	在宅看護学概論	②
	在宅看護学実習	②
	キャリア開発	②
	リハビリテーション看護論	1
	感染制御学	1
	子育て支援論	1
	在宅ストーマケア論	1
	難病看護論	1
卒研究	研究方法論	②
	卒業研究	②

〔注〕 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。
 2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択
専門基礎科目	25	3
専門科目	65	7*
計	90	10
	100単位以上	

〔注〕 * : 選択必修科目2単位を含むこと。

専門科目	授業科目	単位数
	統計学入門	①
	臨床医学概論(生命倫理を含む)	①
	チュートリアル I	①
	チュートリアル II	①
	薬学へのいざない	①
	薬学概論	①
	早期体験学習	①
	物質の構造	①
	物質の状態 I	①
	物質の状態 II	①
	化学平衡と分析化学	①
	臨床への化学分析応用	①
	日本薬局方試験法	①
	無機化合物の構造と分析	①
	分子の解析手段	①
	生体分子の相互作用	①
	化学物質の基本性質	①
	有機化合物の構造	①
	有機官能基と確認手段	①
	官能基の導入・化学変換	①
	複雑な化合物の合成	①
	生体分子のコアとペーツ	①
	医薬品のコアとペーツ	①
	薬になる動植物物	①
	天然物薬品化学	①
	漢方薬学	①
	ヒトの成り立ち	①
	細胞	①
	生体の機能調節	①
	微生物	①
	生体物質 I	①
	生体物質 II	①
	遺伝情報と発現	①
	遺伝子操作	①
	生理活性分子とシグナル分子	①
	生体防御 I	①
	生体防御 II	①
	解剖・生理・細胞生物学演習	①
	栄養と食品	①
	食品衛生学	①
	社会集団と健康	①
	環境因子の生体影響	①
	化学物質の生体影響	①
	生活環境と健康	①
	薬の作用	①

専門科目	授業科目	単位数
	薬の効き方 I	①
	薬の効き方 II	①
	薬理学演習	①
	薬の生体内運命	①
	薬物動態解析学 I	①
	薬物動態解析学 II	①
	薬学計算	①
	循環器・造血系の疾患と薬物	①
	代謝・内分泌系の疾患と薬物	①
	精神・神経系の疾患と病気	①
	免疫・アレルギーの疾患と薬物	①
	感染症・悪性腫瘍と薬物	①
	病態生理学演習	①
	医薬品情報報	①
	患者情報報	①
	製剤材 料	①
	製剤設計・DDS	①
	治験と医療統計	①
	医薬品の開発と生産	①
	薬学と社会: 関係法規	①
	薬学と社会: コミュニティーフィーマシー	①
	物理分析化学の進歩	2
	医療薬学の進歩	2
	生化学の進歩	2
	有機化学の進歩	2
	薬剤・製剤学の進歩	2
	薬理学の進歩	2
	薬物代謝・毒性学の進歩	2
	総合医薬科学	2
	基礎薬学演習	⑨
	応用薬学演習	⑨
	総合薬学演習	⑯
	物理化学実習	②
	分析化学実習	②
	有機化学実習	②
	生薬学実習	②
	生物学生実習	③
	衛生薬学実習	③
	薬理学実習	③
	薬剤学実習	③
	卒業研究 I	④
	卒業研究 II	④
	実務事前実習	⑤
	学外実務実習	⑳

〔注〕 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目を示す。

【卒業に必要な単位数】

区分	必修	選択
専門科目	155	10
合計	165	単位以上

III 教職課程

1 教科に関する科目

イ 社会(心理科学部 臨床心理学科)

授業科目	単位数
歴史学	2
日本史概論	2
西洋史概論	2
地理学	2
法学概論	2
政治学概論	2
国際関係論	2
社会会学	2
経済学	2
哲学概論	2
倫理学概論	2

□ 公民(心理科学部 臨床心理学科)

授業科目	単位数
法　律　学　概　論	2
政　治　学　概　論	2
国　際　関　係　論	2
社　会　学	2
経　済　学	2
哲　学　概　論	2
倫　理　学　概　論	2
心　理　学　概　論　I	2
心　理　学　概　論　II	2
人　格　心　理　学	2
臨　床　心　理　学	2

ハ 英語(心理科学部 コミュニケーション心理学科)

授業科目	単位数
英語学 I	2
英語学 II	2
イギリス文学	2
アメリカ文学	2
イギリス文学特殊講義	2
アメリカ文学特殊講義	2
英語 IIa	1
英語 IIb	1
英語 IIIa	1
英語 IIIb	1
メディア・イングリッシュ	2
ビジネス・イングリッシュ	2
英語文書作成	2
○ ブリック・スピーキング I	2
パブリック・スピーキング II	2
海外英語実習	2
異文化間コミュニケーション論	2
イギリス文化論	2
アメリカ文化論	2

二 工業(工学部 住環境デザイン学科)

授業科目	単位数
技術者倫理	2
建築一般構造	2
建築計画	2
設計演習	2
住宅デザイン演習	3
建築デザイン演習	2
パブリックデザイン演習	2
インテリアコーディネート	2
インテリアデザイン	2
C G / C A D 演習	2
住宅計画	2
コミュニティプランニング	2
都市・地域・環境計画	2
インテリアデザイン入門	2
景観デザイン論	2
色彩デザイン論	2
人間環境心理	2
居住環境学	2
生活環境学	2
居住環境設備 I	2
居住環境設備 II	2
居住環境評価法および同演習	3
居住環境計測法および同演習	3
建築力学 I	2
建築力学 II	2
建築力学 III	2
構造材料実験演習	2
木構造	2
鋼構造	2
鉄筋コンクリート構造	2
建築生産	2
西洋建築史	2
日本建築史	2
建築積算	2
測量学・同実習	2
工学基礎 I	2
工業概論	2
職業指導 a	2
職業指導 b	2

小 工業(工学部 情報通信学科)

授業科目	単位数
情報通信基礎論	2
工学基礎I	2
工学基礎II	2
回路基礎I	2
回路基礎II	2
ロボット基礎I	2
ロボット基礎II	2
回路設計I	2
回路設計II	2
情報・機械セミナーI	2
情報・機械セミナーII	2
ものづくり実習	2
信号解析	2
プログラミング基礎	2
報通信方式	2
アンテナ工学	2
無線・移動通信	2
科学技術史	2
信号システム	2
ネットワーキングI	2
ネットワーキングII	2
ネットワーキングIII	2
機械設計I	2
材料力学I	2
計測工学	2
デジタル回路	2
自動制御概論	2
基本アルゴリズム	2
E-B制作	2
ソフトウェア工学	2
情報機器	2
デジタル信号処理	2
画像工学	2
制御工学	2
居住環境概論	2
工学基礎実験I	2
卒研ゼミナルI	1
卒研ゼミナルII	2
工業概論	2
インテリアデザイン入門	2
職業指導a	2
職業指導b	2

2 教職に関する科目

授業科目	単位数
教職概論	2
教育原理	2
発達心理学	2
学校教育心理学	2
教育制度論	2
教育課程論	2
英語科教育法 I	2
英語科教育法 II	2
英語科教育法 III	2
英語科教育法 IV	2
社会科・公民科教育法 I	2
社会科・公民科教育法 II	2
社会科教育法 III	2
社会科教育法 IV	2
工業教育指導法 I	2
工業教育指導法 II	2
道徳教育指導法	2
特別活動論	2
教育方法論	2
生徒指導論(進路指導を含む。)	2
教育相談(カウンセリングの基礎を含む。)	2
学校カウンセリング	2
教育実習 I	1
教育実習 II	2
教育実習 III	4
教職実践演習(中・高)	2

3 教科又は教職に関する科目

(1) 中学校一種免許状

授業科目	単位数
社会福祉学	2
介護等体験指導	2
人権と現代福祉	2
平和教育	2
ノンバーバル・コミュニケーション論	2
セルフ・プレゼンテーション演習Ⅰ	2
セルフ・プレゼンテーション演習Ⅱ	2
地域支援実習	1
障害児(者)心理学	2

(2) 高等学校一種免許状

授業科目	単位数
社会福祉学	2
人権と現代福祉	2
平和教育	2
ノンバーバル・コミュニケーション論	2
セルフ・プレゼンテーション演習Ⅰ	2
セルフ・プレゼンテーション演習Ⅱ	2
地域支援実習	1
障害児(者)心理学	2
道徳教育指導法	2